

あべともこニュース

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

こどもSOSダイヤル

◆コロナ困窮者を待たせるな

岸田政権は立憲民主党が3月頃から政府に要請した対策を、今になって取組もうとしています。詳細が決まらず揺れています。

①「子育て世帯18歳以下1人当たり10万円」支給は、現金でまず5万円、残りは春頃クーポンで5万円だと言います。

さらに、「年収960万円」の上限は夫婦合算か世帯収入かは未定。今になって18歳以下に大学生を含めるかは未定と政府は言い始めています。いつ始めるのかと聞けば、年内開始を自治体に指示する、とノラリクラリ。

②経済困窮世帯1世帯10万円

③困窮学生向けの緊急給付金

3つを合わせて経済対策として打ち出しましたが、生活困窮世帯の底上げ策としては不十分です。早急かつ公平な支援となるよう国会を開いて議論すべきことです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区 (藤沢市・寒川町)
当選 8 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック (湘南台) 理事長
現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko

あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中!

検査!



ひとりで悩まず
いつでも電話で
お話聞かせてください

24時間子供SOSダイヤル
があります

0120-0-78310

◆学校、家庭、社会で受け止めよう
コロナ禍において児童生徒の自殺が著しく増えています。
令和2年度の文科省調査では415人ですが、警察庁調査では507人です(下図)。
また、例年、男性の自殺者数が女性の約2倍もある中、今回は働く女性の自殺が増えたことも問題です。
SOSを受け止める術を学校、職場、家庭、社会で高めなければなりません。

令和2年度の警察庁の統計数値との比較 (人)

	警察庁調査	文科省調査	差
小学校	13	7	6
中学校	144	103	41
高等学校	350	305	45
合計	507	415	92

※警察庁調査、文科省調査とも年度間の自殺者数。
※警察庁調査における、令和3年1月~3月までの数値は暫定値である。
(出典)令和2年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」より

文科省(学校関係者)は小中高生の自殺数を受け止め切れていないことが、警察庁調査の数と比較してわかります。

SOSの受け止めと共に、自殺の原因分析と防止に早急に取り組むよう求めています。

◆温暖化対策を自分事に
気候変動枠組み条約締結国会議が終了。石炭火力は「段階的『廃止』から『削減』に修正されて採択。スウェーデンの環境活動家グレタさんは「要約すると、中身の無いおしゃべりだった」と批判。日本でもあらゆる対策を進めることが求められています。

衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail: inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378